

Tea Time Talk with Midori ●Photographer Satoshi Teradate

「人のため、世のために
役に立つことを成すことが
人間として最高の
行為なんです」



西浦みどりのアフタヌーンティー

対談連載

7

～ Guest ～

稲盛和夫

京セラ名誉会長

いなりり かずお
1932年鹿児島生まれ。1955年鹿児島大学工学部を卒業、京都で就職。1959年4月、京都セラミック株式会社(現京セラ)を設立。社長、会長を経て、1997年から名誉会長を務める。1984年、電気通信事業の自由化に即応しDDIを設立し会長に就任。国内の長距離電話の低料金を実現するとともに、移動体通信事業を行うセララ(電話会社8社をメタと設立。2000年10月KDDI、DDI、DOの合併によりKDDI(株)設立、名誉会長に就任。2001年6月引退、最高顧問となる。

西浦 明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

稲盛 こちらこそ。

西浦 さて、昨年の新潟・福井地方豪雨、中越地震災害の折、被災者の方々に、京セラおよび社員の方々からも義援金、お見舞金を日本赤十字社京都支部に御寄付いただきました。ありがとうございました。

稲盛 昭和34年に京都セラミック(現京セラ)を設立以来、私は日頃から社員に、自分より恵まれない人達のことを考える心を持つように言ってきました。そうした私の考え方に、社員一同が賛同してくれて社内で募金活動をして、取りまどめては毎年苦しんでいる方々に少しでも役に立てればと積み重ねてきました。

西浦 すばらしい！特に継続されていらっしゃるの、たいへん貴重なことです。私20代の頃からインタビュなどで企業の経営トップの方々より様々なお話をうかがってまいりましたが、それぞれの会社のトップの理念・お人柄などが社風や社員さんからも受ける印象等、会社全体のあり方に現れているものと拝察しております。稲盛さんはたしか「豊かになつた日本は、国際社会のために少しでも役立つようにすべきだ」という思想をお持ちでいらっしゃるのでしょうか？

稲盛 はい、私は全国で話をする機会があるたびに「みんな、ばかばかしいと思うくらい善きことを行い、しまいは相手かまたは国際社会が日本にこんな要求をしたら恥ずかしいと思ふまでになるべきだ」と言っているんです。戦前は富国強兵一辺倒でしたが

が今必要なのは日文研の川勝平太教授が言っておられる「富国強徳」、日本は徳のある国にならなければいけないと思います。

西浦 でも、世界の中にはこちらにどんな無理をしいたり、それでも刃向かわないので増々付込んでくるという国もありますでしょう？しまいは攻め込まれて、戦争をしかけられるかもしれないし…。

稲盛 そうなつたら当然、全力で守らなければいけませんね。

西浦 うーん。複雑です。個人の小さな話ですが、私が育つた英国では徹底した「石の頬を打たれたら左もさしたす」という自己犠牲の固まりのような教えでした。今では、理不尽な目にあつても多少は自己主張したいなど思つたりもしますが、私の場合は一人です。ですから、これからは母や恩師の教えを守り、稲盛さんの仰るようになりたいと思つています。でも対国となつたらどうと心配な面も…。

稲盛 過日中国の共産党中央学校で講演した時も、我々は革命時の孫文の教えを思い出して見習わなければならぬ。つまり、中国も日本も有徳の国でなければならぬ、話したんです。その時、靖国参拝問題で騒ぎの真つ最中でした。訪中されていた当時の川口外務大臣が、中国副首相の曾慶紅さんに面会を断られ、会えずじまいで帰られた。その数日後、「稲盛さんは古い友人だからぜひ会いましょう」と仰られたので、曾副首相をお訪ねしました。そうしたら既に私の講演の原稿を読んでおられ、同感ですと話されていました。

西浦 なるほど。日本だけでなく世界でもお話をされていらっしゃる。稲盛さんの立派な理念に基づいたお話を大いに広めていただきたいですわ。稲盛 そうですわね。暮れにも世界連

邦を奨励する会で講演をしましたが、真の世界平和を実現させるには経済統合が必要であり、その第一ステップが通貨をひとつにするということです。数年前までは世界の主要通貨が米ドルでしたから貧しい国々、たとえ自国通貨があってもドルのない国は物が買えないわけです。今ではEUができユーロという通貨があるので少しバランスがとれてきましたが、アジアも通貨統合をしたらどうかと思うんです。

西浦 そうしたら為替で儲けたり、いろいろな金融の商売がなくなってしまうんですね。

稲盛 まあ、人間に欲がある以上、平和になりません。それが人間の業、というものでしょう。会社の経営だつてそうですよ。会社を発展させるためにいろいろの研究開発をして会社が成長するわけです。そして少しでも利益を社会に還元する。何が大切かということはいけません。成功した人でも、おごりが出てくると失脚するものです。高い所に登りつめてしまうと、いつしか横暴になってしまう、踏みはずすんですよ。

西浦 経営や経営者のあり方についても、特に若い人達に「盛話塾」を通じて説いてらっしゃいますね。人間として、尊敬に値しなければ何事もダメだということだと思います。他にも、ありがたいことは人工関節や医療材料の研究開発においても30年の実績をお持ちでいらっしゃいます。

稲盛 はい。高齢者に多い変形性関節症や慢性関節リウマチ等で苦しんでいる世界中の人々助けになればと思います。稲盛財団、京都賞を通じて研究開発や人類社会の進歩発展に貢献されている方を顕賞させて



いただいています。私は子供の頃結婚を思っていたのでいい薬を作りたい、薬の研究開発をしたいと思って鹿児島から出てきて大阪大医学部の薬学部を受けたんですけど落ちてしまった。それで鹿児島大工学部へ行きました。そこで有機化学を研究しましたが、卒業後就職したのが京都にある松風工業でした。そこで無機化学であるセラミクの道に入ったんです。そこで運良く事業に成功したので少しでも恩返ししたいと思つているのです。

西浦 そうでいらっしゃいましたが、貢献といえばお話は変わりますが、より豊かな生活のためにも、サマータム制度導入にご賛同くださりありがとうございます。数年前に評論家の木元教子さんに誘われて彼女が東大の茅陽一名誉教授と共に代表を務めていらっしゃる生活構造改革フォーラム(財)・社会経済生産性本部主催に参加し、運営委員になりました。各界の影響力のある方々からもご賛同いただき、夏には超党派でサマータム制度推進議員連盟(会長・平沼赳夫元経済産業大臣)が正式に発足して初会議も持ちました。

においてもサマータム賛成ですよ。
西浦 嬉しいですね。ご理解いただき。
稲盛 応援しますよ、賛成派ブツクにも署名しましたからね。
西浦 時代の変化に伴いライフスタイルシフトをより豊かに楽しく云々ということもさることながら、実は身体障害者の方々からも求められている優しい制度でもあるんです。
稲盛 特に明るい時間が長いですね。の不自由な方の活動が広がりますね。
西浦 仰る通りです。それから精神面のケアにおいては犬・猫ペット達が被災地で災害による精神的ダメージを受けた方々に大きな癒しの効果をもたらした活躍でした。逸早く被災地にペットハウスも建てられたというのも大きな進歩です。
稲盛 特に犬は欧米でも病院やホスピスでアニマルセラピーといつて病室で触れあうことで患者さん達の治療に役かっていますね。
西浦 そうなんです。日本ではようやく老人介護施設などで実施され始めましたがまだまだこの分野においては立ち後れています。ここ日赤医療センターが建て替えの際にでもせめて入院患者さんが家族と見舞いに来れるペット達と面会できるお部屋ができたらいと思います。
稲盛 そうなると思います。ペットも家族の一員ですから。
西浦 今日はいろいろなお話を楽しくうかがうことができ、嬉しゅうございました。ありがとうございました。

にしうらみどり

国際コンサルタント・評論家
(オピニオンリーダー)。
東京生まれ、英国育ち。インバスターリレーションズを主とする国際金融と都市開発(商業・住宅等)のコンサルタント会社社長としての契約企業・団体多数。テレビ・ニュース情報番組では、ユーモアたっぷりの辛口コメントで、中高生からシルバ一代まで幅広い支持を得ている。特に若い女性には、講演・著書を通じてエレガントなエグゼクティブのお手本としても人気。政府委員、日本赤十字社医療センター外部評価委員も務めている。